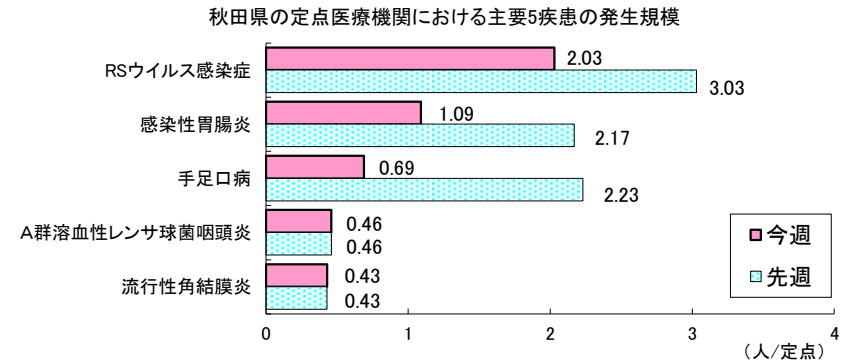




【第38週の発生動向】

< 定点把握対象疾患(週報)・前週比 >

- RSウイルス感染症は、県全体で33%減少しています。保健所別では、北秋田、秋田中央、横手で増加、秋田市、大館、能代、由利本荘、大仙、湯沢で減少しています。
- 感染性胃腸炎は、県全体で50%減少しています。保健所別では、秋田中央で増加、由利本荘で同規模、秋田市、大館、北秋田、能代、大仙、横手、湯沢で減少しています。
- 手足口病は、県全体で69%減少しています。保健所別では、北秋田で同規模、秋田市、大館、能代、秋田中央、由利本荘、大仙、横手、湯沢で減少しています。



発生報告

< 五類定点対象疾患(週報) >

疾患名	秋田県		秋田市			大館			北秋田			能代			秋田中央			由利本荘			大仙			横手			湯沢					
	第37週	第38週	増減	第37週	第38週	増減	第37週	第38週	増減	第37週	第38週	増減	第37週	第38週	増減	第37週	第38週	増減	第37週	第38週	増減	第37週	第38週	増減	第37週	第38週	増減					
RSウイルス感染症	3.03	2.03	↘	3.43	2.71	↘	3.50	2.00	↘	1.00	2.00	↗	0.33		↘	0.50	0.75	↗	8.50	3.50	↘	2.00	0.75	↘	3.00	5.33	↗	3.00	1.00	↘		
インフルエンザ	0.13	0.20	↗		0.18	↗				1.00		↘	0.75	2.25	↗							0.14		↘								
咽頭結膜熱	0.11	0.11					0.50	0.25	↘							0.25	0.50	↗				0.25	0.25									
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.46	0.46		0.43	1.00	↗	0.50		↘							0.75		↘		0.50	↗	1.00	0.50	↘	0.33	0.33		0.75	1.00	↗		
感染性胃腸炎	2.17	1.09	↘	4.14	1.86	↘	0.75	0.25	↘	1.00		↘	4.67	2.00	↘	1.25	2.00	↗	0.25	0.25		2.75	1.00	↘	2.00	1.00	↘	1.25	0.50	↘		
水痘	0.09	0.11	↗		0.29	↗	0.25	0.25					0.33		↘							0.33		↘				0.25	0.25	↗		
手足口病	2.23	0.69	↘	2.29	0.71	↘	2.00	0.50	↘	2.00	2.00		1.00	0.33	↘	3.25	1.50	↘	2.75	0.25	↘	0.50	0.25	↘	3.00	0.67	↘	3.00	0.50	↘		
伝染性紅斑	0.06	0.03	↘	0.14												0.25	0.25															
突発性発しん	0.20	0.29	↗	0.43	0.14	↘	0.25	0.50	↗								0.25	↗	0.50	1.00	↗					0.33	↗	0.25	0.25			
ヘルパンギーナ	0.74	0.40	↘	0.29	0.14	↘	1.25	0.25	↘	3.50	1.50	↘	0.33		↘	0.75	0.25	↘	0.50	1.25	↗	0.25		↘	1.67	0.67	↘		0.25	↗		
流行性耳下腺炎		0.03	↗																				0.25	↗								
川崎病	0.03		↘																0.25		↘											
急性出血性結膜炎										*	*		*	*		*	*										*	*				
流行性角結膜炎	0.43	0.43		1.00	0.67	↘				*	*		*	*		*	*								1.00	↗	*	*				
細菌性髄膜炎																*	*															
無菌性髄膜炎																*	*															
マイコプラズマ肺炎	0.50	0.25	↘	1.00	1.00											*	*		3.00		↘								1.00	↗		
クラミジア肺炎(オウム病を除く)																*	*															
感染性胃腸炎(ロタウイルスによるもの)																*	*															

(注) 表の数値は、観測定点としている県内の医療機関から報告された患者報告数を、1定点あたりに換算した人数を示し、前週と比べて「↗」は増加を、「↘」は減少していることを示します。
「*」印は、当該疾病に関わる定点医療機関が指定されていないことを、空欄は全ての定点で当該週における患者の報告数がなかったことを示します。



発生報告

<全数把握対象疾患>

- ・二類感染症の結核が横手保健所管内から2人、報告されました。
- ・四類感染症のレジオネラ症が秋田市保健所管内から1人、報告されました。
- ・五類感染症の梅毒が大仙保健所管内から1人、百日咳が北秋田保健所管内から4人、報告されました。

<全数把握疾患>

類型	疾患名	(人)		
		1週-37週 全国	秋田	38週 秋田
一類	エボラ出血熱			
	クリミア・コンゴ出血熱			
	痘そう			
	南米出血熱			
	ペスト			
	マールブルグ病			
	ラッサ熱			
二類	急性灰白髄炎			
	結核	15177	81	2
	ジフテリア			
	重症急性呼吸器症候群			
	中東呼吸器症候群			
	鳥インフルエンザ(H5N1)			
	鳥インフルエンザ(H7N9)			
三類	コレラ	4		
	細菌性赤痢	72	1	
	腸管出血性大腸菌感染症	2670	32	
	腸チフス	28		
	バラチフス	12		
四類	E型肝炎	372	3	
	ウエストナイル熱			
	A型肝炎	339	7	
	エキノкокクス症	14		
	黄熱			
	オウム病	13		
	オムスク出血熱			
	回帰熱	4		
	キャサナル森林病			
	Q熱			
	狂犬病			
	コクシジオイデス症	2		
	サル痘			
	ジカウイルス感染症	1		
	重症熱性血小板減少症候群	73		
	腎症候性出血熱			
	西部ウマ脳炎			
タニ媒介脳炎				
炭疽				

類型	疾患名	(人)		
		1週-37週 全国	秋田	38週 秋田
四類	チクングニア熱	28		
	つつが虫病	84	5	
	デング熱	311	1	
	東部ウマ脳炎			
	鳥インフルエンザ(H5N1、H7N9を除く)			
	ニパウイルス感染症			
	日本紅斑熱	166		
	日本脳炎			
	ハンタウイルス肺症候群			
	Bウイルス病			
	鼻疽			
	ブルセラ症	2		
	ベネズエラウマ脳炎			
	ヘンドラウイルス感染症			
	発しんチフス			
	ポツリヌス症	1		
	マラリア	42		
野兎病				
ライム病	11			
リッサウイルス感染症				
リフトバレー熱				
類鼻疽	1			
レジオネラ症	1657	11	1	
レプトスピラ症	13			
ロッキー山紅斑熱				
五類	アムール赤痢	625	4	
	ウイルス性肝炎(E型及びA型を除く)	237		
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1512	12	
	急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)	56		
	急性脳炎	649	4	
	クリプトスポリジウム症	15		
	クロイツフェルト・ヤコブ病	134	1	
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	666	3	
	後天性免疫不全症候群	830		
	ジアルジア症	33		
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	412	2	
	侵襲性髄膜炎菌感染症	34		
	侵襲性肺炎球菌感染症	2376	13	
	水痘(入院例に限る)	342	8	
	先天性風しん症候群	3		
	梅毒	4713	16	1
	播種性クリプトкокクス症	105		
破傷風	94	2		
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症				
バンコマイシン耐性腸球菌感染症	54			
百日咳	12310	132	4	
風しん	2190	3		
麻しん	685			
薬剤耐性アシネトバクター感染症	23			

トピック

<9月28日は「世界狂犬病デー」です>

現在、日本国内における狂犬病の発生はありませんが、世界では一部の地域を除いて未だ発生しており、年間5万人以上が亡くなっています。9月28日は狂犬病ワクチンを開発したパスツールの命日にちなみ、「世界狂犬病デー」として、世界各国で狂犬病の影響やその予防法などについて知ってもらうことを目的に、狂犬病に関する教育活動やイヌへの予防注射の取り組みが実施されています。

■発生状況

日本では、狂犬病予防法の施行により、1957年のネコの発症例を最後に国内発生はなくなっています。しかしながら、多くの地域で、狂犬病の原因となるウイルスがイヌや野生動物の間で維持されています(図)。そのため、旅行中にイヌなどに咬まれ、帰国後に発病した輸入症例は、近年でも報告されています。また、動物の輸入などによって、国内にウイルスが侵入する危険性もあります。

台湾は日本と同様に狂犬病の清浄地域でしたが、2013年に狂犬病ウイルスに感染した野生動物(イタチアナグマ)が確認されており、狂犬病がないとされている地域であっても注意が必要です。

■予防対策

- ・海外では、むやみに動物と接触することは控えましょう。
- ・狂犬病は、発症後の有効な治療法がなく、最終的に呼吸麻痺でほぼ100%死亡する感染症です。ただし、感染後すぐにワクチンを接種することで、発症を防ぐことが可能です。もし海外で動物に咬まれたり引っかけられたりした場合は、直ちに石けんと流水で傷口を洗い、医療機関を受診しましょう。
- ・日本では、法律によりすべてのイヌが狂犬病の予防注射を年一回受けることになっています。イヌを飼育されている方は、必ず接種を受けさせるようにしましょう。

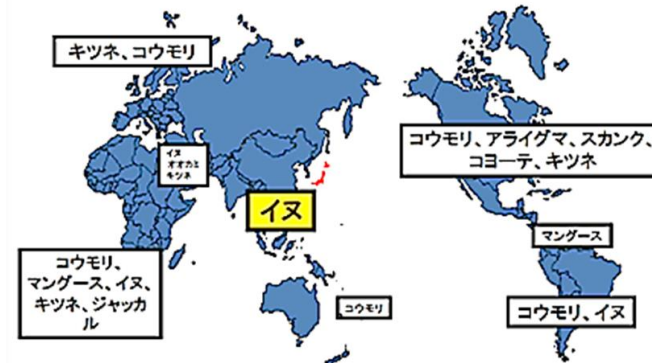


図 世界各地の狂犬病媒介動物 (厚生労働省ホームページより)

感染症の集団発生報告

RSウイルス感染症による集団発生報告が1件ありました。

所在地	施設名称	報告日	有症者数			把握期間	症状
			利用者(園児、入所者等)	職員	計		
秋田市	あきた保育園	9/17	102名のうち 12名	34名のうち 0名	12名	9/13 ~ 9/17	発熱、咳、鼻汁



【注意報・警報の発生状況】

疾患名	注意報	警報
	保健所(発生規模)	保健所(発生規模)
手足口病	-	北秋田(2.00)

■ 注意報・警報の定義

【注意報・警報の定義】

- 1) 注意報: 流行の発生前であれば今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性があることを示し、流行の発生後であればその流行がまだ終わっていない可能性がある(終息していない)ことを示します。
- 2) 警報: 大きな流行の発生・継続が疑われることを示します。

対象疾患	注意報			対象疾患	警報		
	基準値(人/定点)	開始基準値(人/定点)	継続基準値(人/定点)		基準値(人/定点)	開始基準値(人/定点)	継続基準値(人/定点)
インフルエンザ	10	30	10	伝染性紅斑	-	2	1
咽頭結膜熱	-	3	1	ヘルパンギーナ	-	6	2
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	-	8	4	流行性耳下腺炎	3	6	2
感染性胃腸炎	-	20	12	急性出血性結膜炎	-	1	0.1
水痘	1	2	1	流行性角結膜炎	-	8	4
手足口病	-	5	2				

■ 保健所地域

保健所	所管市町村	保健所	所管市町村
大館保健所	大館市、鹿角市、小坂町	由利本荘保健所	由利本荘市、にかほ市
北秋田保健所	北秋田市、上小阿仁村	大仙保健所	大仙市、仙北市、美郷町
能代保健所	能代市、藤里町、三種町、八峰町	横手保健所	横手市
秋田中央保健所	男鹿市、潟上市、五城目町、八郎潟町、井川町、大潟村	湯沢保健所	湯沢市、羽後町、東成瀬村
秋田市保健所	秋田市		